

学校だより

明治中生らしく

～笑顔で 元気に さわやかに 明治中～

平成30年 7月20日
第52号
継承：「プラス1」
「キャリア教育」
「地域への貢献」
八戸市立明治中学校
文責 佐々木 敏文

感動！「命の授業」！！

～ドリー夢メーカー・ドリー夢キラー～

校長 佐々木 敏文

4月から早3ヶ月が過ぎ、無事に1学期の終業式を迎えることが出来ました。修学旅行(3年生)・校外学習(1、2年生)・体育祭・市中体夏季大会・一次考査・グッジョブ(2年生)・親子学習会等、様々な経験を通して子どもたちが大きく成長したことを、嬉しく思っています。その陰には、子どもたちの『ドリー夢メーカー』として励まし支えてくださった保護者・地域の皆様がいたからこそと心から感謝申し上げます。

さて、7月11日(水)『親子学習会』には、平日にもかかわらずたくさんの保護者、地域の皆様方に参加して頂きました。『命の授業～ドリー夢メーカーと共に生きる～』と題し、元中学校教諭 腰塚勇人氏をお招きし講演会を実施することができました。

腰塚さんは大学卒業後、神奈川県で中学校の体育教師として勤めていました。平成14年3月、長野県のスキー場で事故に遭い、頸椎骨折の大けがをしました。奇跡的に命を取り留めましたが、首から下が麻痺し、全身が動かない状態になりました。人生に絶望し、自殺まで考えましたが、家族・友人・看護師・同僚等の皆さんの励ましから、生きる希望をもつことができ、リハビリを重ね、立ち上がった方です。絶望から立ち上がり、苦しい経験から得た命の大切さ、そのことを『命の授業』として子どもたちに伝えたいと、自分の生き方を全国・海外で講演されています。その中で生まれた言葉が『ドリー夢メーカー』です。動かない手足に絶望して死にたいと思っていた腰塚さんが、家族・同僚・生徒・看護師さん・リハビリの先生に生きる夢をもらって気づいた瞬間、これからは、『ドリー夢メーカー』として生きていくことを誓ったのだそうです。

- 『ドリー夢メーカー』とは・・・
- ・自分の夢に向かってエネルギーを与えてくれる人・・・(パワーチャージャー)
 - ・自分が困っているときに助けてくれる人・・・(リスク・テイカー)
 - ・夢のモデル(あこがれ・尊敬できる人)・・・(ホッとできるホットマン)
 - ・やる気のスイッチを入れてくれる人・・・(ON人)

- 『ドリー夢キラー』とは・・・
- ・おまえはダメ、俺には関係ない ・やる前から、できないことを理由にあげる
 - ・陰口、悪口を言う

『ドリー夢メーカー』も『ドリー夢キラー』も自分の心にある。『ドリー夢メーカー』として生きるのか、『ドリー夢キラー』として生きるのか、『ドリー夢キラー』になってないか考えて行動することが大切であると・・・

自分の命が、私が使える時間。自分で決めることができる。人はみな、自分と大切な人の『ドリー夢メーカー』として生まれ、存在している。自分と人の命が喜ぶ行動を『ドリー夢メーカー』になってしていこうと・・・

生死にに関わる大けがをして、今まで当たり前だと思っていたことに幸せを感じる。感謝の毎日。不自由な右手で、右手の代わりにする左手のありがたさに感謝している。

人は、一人では生きていけない。
だから、人のために生きなくてはならない。
人生は、今日の積み重ねである。
だから、今を大切に生きなくてはならない。



命の尊さ、生きていることの素晴らしさ、学校生活、家庭生活、社会生活の在り方を改めて考えるいい機会となりました。



【講演会を聴いての生徒の感想】

- ・5つの誓い、口は「人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう」目は「人へのよいところを見るために使おう」心は「人の痛みがわかるために使おう」耳は「人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう」手足は「人を助けるために使おう」、この言葉を意識し、自分のために、また、周りの人のためのなるよう、生活をしていきたいと思えます。
- ・自分の命を喜ばせるために、明るい言葉をたくさん使っていこうと思えます。
- ・僕も誰かの「ドリー夢メーカー」になれるよう、自分の命を喜ばせ、人を励ますだけでなく、人の心の痛みを分かり、仲間、家族の命を喜ばすよう頑張りたいと思えます。
- ・腰塚先生が看護師さんの言葉に助けられた話を聞き感動し泣きそうでした。命の喜ぶ行動の答えは、人を喜ばせたり、困っていたりしたとき助けてあげる行動をすることです。
- ・「言葉」と「言刃」の違い。言い方によって、言葉が相手に対して刃物にもなる。これからは、言葉を選んで相手を傷つけないようにしたい。
- ・「助けて」は弱い人の言葉ではない。また、悪いことではないと分かった。今までは「助けてほしい」と言えなかった。気持ちが軽くなった。これから、自分が頑張れない時は「助けてほしい」と素直に言いたいし、誰かがそうであれば力になりたい。

2年生グッジョブ・ウィーク！ 事業所の皆さん！ありがとうございました。



7月3日(火)～6日(金)までの4日間、2年生によるグッジョブ・ウィークが行われました。今年度は13事業所の皆様からのご協力をいただき、勤労体験や社会体験を通して働くことの意義や楽しさ、厳しさを知ることができました。また、挨拶や言葉遣いなどの社会的マナーを身に付けるとともに、自分の将来について考えるいい期間となりました。2年生の保護者の皆様にもご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございました。

「馬の歴史と地域の文化学習会」～歴史に見る南部駒と櫛引八幡宮～

7月12日(木)、櫛引八幡宮 杉山武史氏、十和田乗馬倶楽部 上村鮎子氏、お二人の講師をお招きし、演題「馬の歴史と地域の文化学習会」を開催しました。

櫛引八幡宮 杉山氏には「櫛引八幡宮の創建と南部氏」・「平安期の南部駒」について、子どもたちに語っていただきました。特に子どもたちが驚いていたのは、櫛引八幡宮が建久2年(1191年)鎌倉時代以前に糠部郡(「九カ部四門の制」一戸～九戸)を任された南部氏によって創建されていたことでした。

また、上村氏には、「東北地方の流鏝馬」について、南部師行公が建武2年(1335年)に櫛引八幡宮にて奉納した流鏝馬がルーツで、遠野郷八幡宮(岩手県)、寒河江八幡宮(山形県)でも、頼朝近辺の武士によって神社の祭りにて奉納されるに至ったそうです。



夏休み中の主な行事予定 ※別紙で各学年の夏休みの計画が配付されています。ご確認を！

- ★3年生学習会、自習会、全校出校日・・頑張れ！受験生！
7/24(火)・25(水)・26(木)・30(月)・31(火)・8/3(金)・6(月)・7(火)・8(水)・9(木)・20(月)
※3年宿題点検は学習会で確認していきます。
- ★1・2年生出校日・・生活リズムを整えよう！
8/10(金)、20(月)
- ☆三者面談は、学級からのお知らせを確認してください。 ☆2学期始業式8月22日(水)です。